

令和8年
(2026年)

2

そうごう 総合センターだより

川西市総合センター(川西隣保館・川西児童館)

川西市日高町1番2号 072(758)8398 Fax 072(758)2132



はんしん あわじだいしんさい
阪神・淡路大震災から31年目

さいがい じ
災害時においても「人権」が尊重されるために

しんねんそうそう 新年早々の2026(令和8)年1月6日、島根県東部を震源とする地震が発生しました。島根県や鳥取県では

震度5強、本市でも震度2が観測され、その後も各地で続く地震に

「どうか大きな被害が出ませんように」と願わざにはいられません。

同時に、1995(平成7)年1月17日の阪神・淡路大震災の記憶が

よみがえります。



今年で、阪神・淡路大震災から31年目を迎えました。川西市では、4名の大切な命が失われ、551人が負

傷、9,322棟もの家屋が損壊するという被害を受けました。(本市市制70周年記念誌より)。

2025(令和7)年12月に、神戸市の「人と防災未来センター」を訪れました。映像や音で再現された震災

の破壊力のすさまじさに息をのむとともに、語り部の方の話が心に深く残っています。当時は、法整備が不十分

で支援に苦労したこと、そして、混乱の中で、ルールの欠如や食料の略奪など厳しい状況が生まれたことなど

が語られました。

災害は、私たちの生活を壊すだけでなく、日常の当たり前を奪い、大きな不安から人権問題を引き起こしや

すい状況を作ります。避難所でのプライバシーの侵害、情報格差、不確かな情報による偏見や差別などが懸

念されます。

しかし、人権尊重とは特別なことではありません。自分が「嫌だなということはしない。」「こうしてもらえたなら助

かるな。」と思うことを実践することです。そして、自分の基準だけで判断せず、性別、年齢、障がいの有無にか

かわらず、相手が何を求めているのかを聴く姿勢が大切です。

また、不安な時ほど、根拠のない噂に惑わされず、正確な情報に基づいた行動をすることが差別を生まない

ことにつながります。震災の教訓を胸に、人権が尊重され、誰もが安心して暮らすためにも、思いやりの心が

大切です。

総合センターだよりは、読みやすいフォント「UD(ユニバーサルデザイン)デジタル教科書体」を使用しています。

*総合センターは、差別解消に向け取り組む、人権啓発の拠点施設です。